



THE
WAKASA
WAN
ENERGY
RESEARCH
CENTER

(財)若狭湾エネルギー研究センター

エネ研ニュース



平成21年2月 9日発行

10号

<http://www.werc.or.jp/>

福井県独自の「技量認定制度」始動！

3つの分野で実技・筆記試験を実施し、合計146名が挑戦

原子力保修業務従事者の技能レベルの強化を目的とした本県独自のこの『原子力保修技術技量認定制度』は、全国に先駆けて昨年11月に協議会を設立し運用を開始したものです。3つの認定区分があり、それぞれ1月20日から1月29日の間にエネ研（敦賀市）と関西電力原子力保修訓練センター（高浜町）で実技と筆記の試験を行いました。受験者は合計146名で、後日、結果を通知し、認定証を授与します。

【制度の概要】
技能対象範囲：原子力発電所の保修工事に関する一般的な技能
認定対象者：原子力発電所の現場で保修業務に従事する者のうち、作業員クラス
認定区分：あと施工アンカー作業、配管締付継手作業、電線結線・端末処理
認定方法：講習（講義、実技）、試験（筆記、実技）
認定機関：福井県原子力保修技術技量認定協議会
受験料：無料
資格の有効期限：3年。更新は再度受験が必要。

3つの認定区分の実施状況

あと施工アンカー作業

1月20日(敦賀市)：25名
1月21日(高浜町)：25名

穿孔式アンカー施工について正しい知識を習得し、実際にコンクリートブロックにアンカーを打込むことにより、穿孔式アンカー施工を適切に実施できる技量



配管締付継手作業

1月22日(高浜町)：20名
1月23日(敦賀市)：20名

スウェジロック継手の取扱いについて正しい知識を習得し、実際に配管に継手を接続することにより、スウェジロック継手の取扱いを、適切に実施できる技量



電線結線・端末処理

1月28日(敦賀市)：28名
1月29日(高浜町)：28名

電線端末処理取扱いについて正しい知識を習得し、実際に電線に端子を接続することにより、電線端末処理を、適切に実施できる技量



「はんたか」世界に向けてアブダビで初展示

(財)若狭湾エネルギー研究センターが開発した太陽熱調理器「はんたか」が、アラブ首長国連邦において開催された「WORLD FUTURE ENERGY SUMMIT 2009 (WFES09) 併設展示会」に出展されました。エネ研の開発した太陽炉により鉄を用いて水素をつくる技術に高い関心が示されました。

- 1 日時 平成21年 1月19日(月)～21日(水)
- 2 場所 アラブ首長国連邦 アブダビ首長国
アブダビ国立展示場 (Abu Dhabi National Exhibition Centre)
日本パビリオン 国際石油開発帝石株式会社 (INPEX) ブース内
- 3 内容 太陽熱調理器「はんたか」の使用方法の紹介等



展示会は大盛況！



650人以上の方々が私たちのブースを訪問されました。太陽エネルギーにより、鉄を用いて水素を作り出す技術を聞いて、ほとんどの訪問者は、すごい技術だと感心して下さいました。帰国後、訪問者からの追加の問い合わせや質問があり、今後、海外との共同研究につなげていきたいと考えています。

(天田健一主幹研究員)



(上)英国のトニー・ブレア元首相
(下)政府代表団の吉川経済産業副大臣



アブダビ日本人学校で「はんたか」体験学習！



講師：天田主幹研究員

展示会に先駆けて、アブダビの日本人学校で「はんたかを使った太陽エネルギーの体験学習会」を行いました。対象は、小学校1年生から中学3年生まで28名の参加。みんなとっても楽しそうでした！



ゆで卵が15分くらいで出来てしまうことや、マシュマロがすぐに溶けていくのを見て、太陽エネルギーのすごさに驚いていました。

